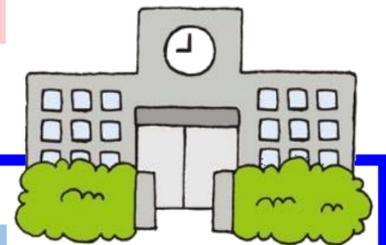


岡山市立小・中学校における 特別支援教育推進グランドデザイン

【岡山市の教育】
自立に向かって成長する子どもの育成

【目指す子ども像】
「豊かな人間性を身に付けている子ども」
「自分を高める子ども」
「共に生きる子ども」



【岡山市立小・中学校における特別支援教育の目標】
すべての教職員で行う特別支援教育の推進
～インクルーシブ教育システムの構築～

岡山市が進める特別支援教育の三つの柱

学校の体制づくりの推進

- ◇すべての教職員が参画する校内支援体制の整備
- ◇教員の特別支援教育に関する専門性の向上
- ◇関係機関との連携

一人一人のニーズに応じた教育の充実

- ◇すべての学級で「特別支援教育の視点を生かした集団づくり・授業づくり」の実施
- ◇障害による困難さを改善・克服するための適切な教育課程の編成
- ◇ねらいを明確にした交流及び共同学習の実施

就学相談体制の充実

- ◇2年越しの就学相談
- ◇定期的な学びの場の見直し
- ◇個別の教育支援計画等を活用した支援の継続

岡山市立小・中学校

- ・ネットワーク会議等
- ・個別の教育支援計画等の情報共有
- ・研修会の実施
- ・保育所等訪問相談支援事業

連携

- ・懇談・ケース会
- ・就学説明会
- ・就学・教育相談会

連携

関係機関

- ・医療機関
- ・園や特別支援学校
- ・こども総合相談所
- ・発達障害者支援センター（ひか☆りんく）
- ・児童発達支援事業所 等

子ども
～将来の姿を共有～

連携

保護者

- 【家庭での支援】
- ・話し合いの時間をもつ
- ・見守り、支える
- ・子どもに一役もたせる 等